

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施報告書（平成28年度） （教育局用）

1 研究指定校の活動内容等の結果（成果や課題等）を記載してください。

[成果]

- ・各校種のキャリア全体計画を「利尻町キャリア全体計画」にまとめることにより、会議等で児童生徒に育成すべき能力・態度の明確化と指導の体系化について協議することができたこと。
- ・「地域ダイスキ！プロジェクト」に係る取組（「キッズビジネスタウンりしり」など）を通じて、地域のよさや地域で生活を営むことの意義について理解を深めることができたこと。
- ・「子どもダイスキ！プロジェクト」に係る取組（「座談会」や家庭科副読本の活用）を通じて、将来、生徒が家庭を持ち、子どもを産み育てることの意義について理解を深めることができたこと。

[課題]

- ・小中、小高及び中高それぞれが連携した取組が行われているが、本事業における「12年間の指導の体系化」の観点から、小中高すべての校種による一貫した取組が求められること。
- ・効果測定における学校評議員の記述から、「本事業を理解している保護者や地域住民はまだ少ない」などの意見があったため、取組を保護者や地域住民に広く周知する必要があること。

2 1の結果から、本事業を円滑に進めるためには、教育局としてどのような支援・方策等を実践するか（実践すべきか）具体的に記載してください。

- ・小中高の連携による取組を進めるため、各校種での地域に関する学習（調査研究）報告会の設定や同時開催する講演会の講師の選定、また、そのPR活動について積極的に支援を行うこと。
- ・本事業に係る取組を保護者や地域、全道に広く周知するため、各プロジェクトなどの成果について、指定校や教育局、本庁ウェブページへの掲載や報道等を活用すること。

3 地域未来づくり会議に関する次の点について記載してください。

(1) 開催日

- ・第1回：平成28年6月7日（火）
- ・第2回：平成28年11月25日（火）
- ・第3回：平成29年3月23日（木）

(2) 開催の結果（成果と課題）

- ・会議における報告や協議を通じて、各プロジェクトに係る取組の成果や課題について共有するとともに、各構成員からの意見や提案等を次の取組に生かすことができたこと。
- ・推進校5校で構成する「利尻ふるさとキャリア教育推進委員会」と本会議を同時開催することにより、各校種の詳細な取組と児童生徒の変容を知ることができたこと。
- ・各プロジェクトに係る取組の報告が中心となることが多いため、学校間の連携による「育成すべき子ども像」や「12年間の指導の体系化」などについて一層協議する必要があること。

(3) 委員からの意見等

- ・学校の教育活動と実社会を結び付けることが鍵となること。すべてを学校で完結するのではなく、地域との連携を生かすことが重要であること。
- ・子どもたちが地域の実態を知るためにも、主産業を実体験する機会があればよいこと。また、町で新たな仕事を生み出すなど、町で頑張る意欲のある生徒を育成してほしいこと。
- ・子どもによる地域の活性化や街づくりへの参画意識の高揚を図るために、社会や地域と連携して取り組む必要があること。その際には、コミュニティスクールの視点を大切にしてほしいこと。